

取扱説明書 Ver 1.00

TP-672

ランドロック X



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容

セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。また、ペグやロープ自在は消耗品です。常に予備を携行することをお勧めします。



フライシート



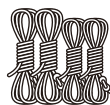
インナー
ルーム



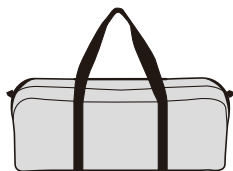
シールドルフ



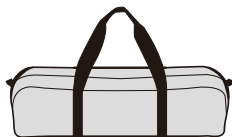
Aクロスフレーム×2
Cクロスフレーム×2
センターフレーム×1
リッジポール×2



自在付ロープ
(4.5m×2、3.5m×4、
2.0m×6)



キャリーバッグ



フレームキャリーバッグ



スタッフサック



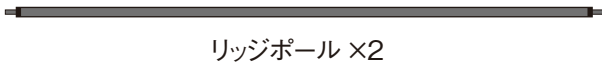
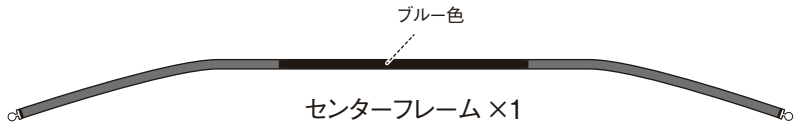
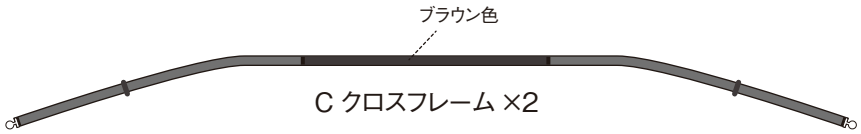
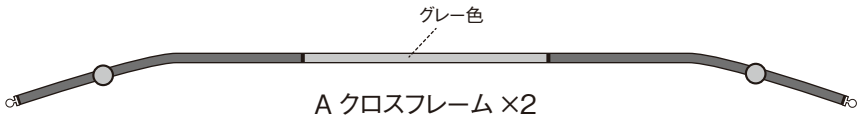
取扱説明書
(本書)

本製品にはジュラルミンペグが付属されておりません。
お手持ちの鍛造ペグを別途ご用意ください。

【鍛造ペグの条件】

TP-672：30cm 以上 × 25 本

フレーム構成



△ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- シェルター内では、燃焼器（燃焼式ランタン、こんろ、ヒーターなど）および当社指定外の薪ストーブ、石油式燃焼器（石油ストーブ、石油こんろ）は使用しないでください。限られた空間での火気の使用は、火災や酸素欠乏、一酸化炭素中毒などのおそれがあり大変危険です。
- シェルター内で薪以外の燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。薪ストーブの点火に使用するライターなどは、薪ストーブからの熱の影響を受けない距離で管理してください。またポケットの中やテーブルの上には絶対に放置しないでください。

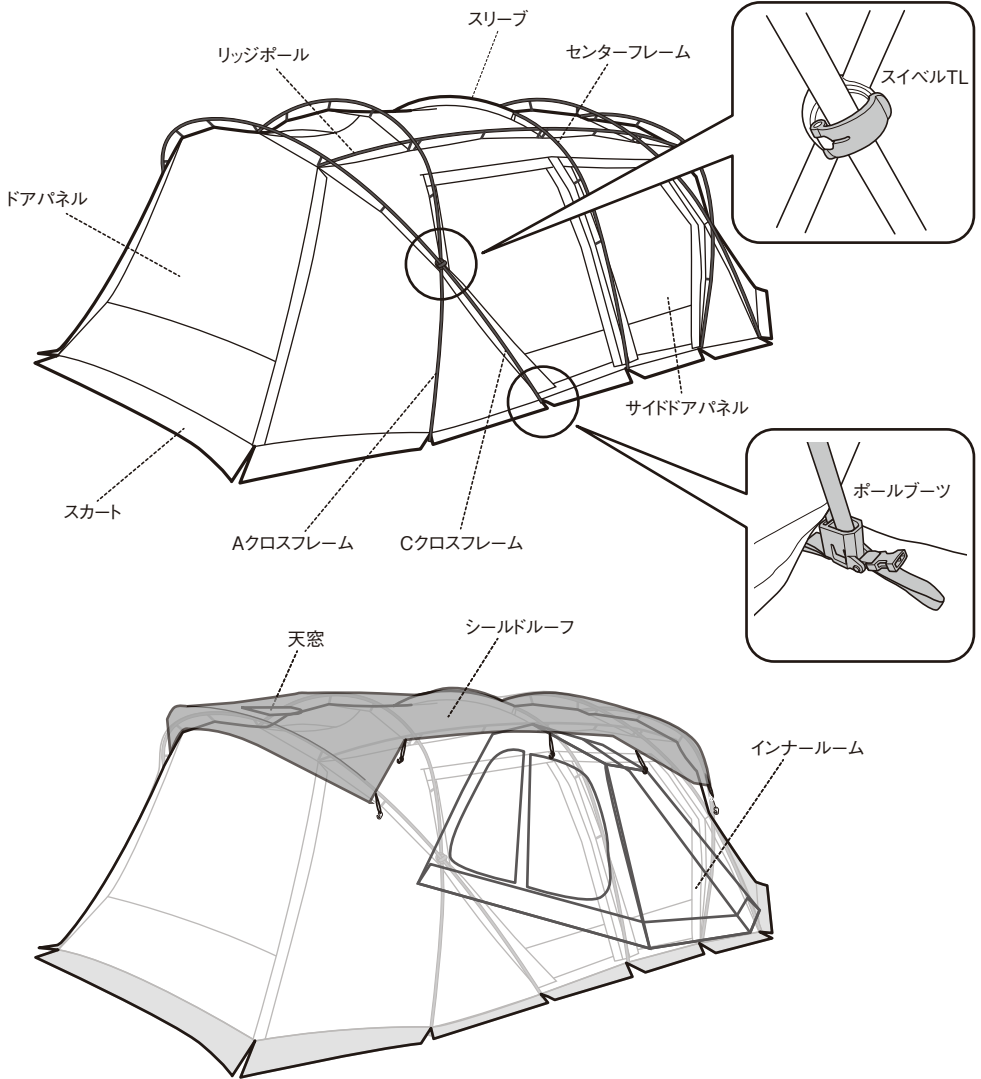
△ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、悪天候（大雨、降雪、強風、雷など）が予想されるときは速やかにキャンプを中止して、安全な場所に避難してください。万一悪天候にみまわれたり、強風時などにはペグやロープがしっかりとつながれているかなどを、時々点検してください。
- 積雪がある場合、定期的にシェルターの上に積もった雪を取り除いてください。シェルターの構造上、雪の重みで損傷や倒壊の危険があります。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- シェルター内は高温になり、熱中症や脱水症状などの危険があります。細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、げけ崩れ、急な洪水や氾濫などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設置してください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやペグなどにはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。

△ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を空けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう本体をしっかりと支えて作業してください。事故につながるおそれがありますのでフレームを取り扱う際は必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ペグとロープでしっかりとシェルターを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書（本書）に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- 本製品の設営・撤収の際は、フレームをしっかりと掴んで作業してください。フレームの先端がハネ返るなどして思わぬ事故になりますので、近くに人がいないかなど、周囲の安全を確認してください。
- 縫製部分にはシームテープによる防水処理が施されていますが、ドアパネルや窓のファスナー部分、テープを縫いつけた部分など、製造の都合上または構造上シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨の時などは、縫い目から雨水が浸入することがあります。ご購入時は、シーリング加工はおこなっておりませんので、市販のシームシーラント剤をあらかじめ縫い目の表と裏から、縫い目に沿って塗布してからお使いください。
- インナールーム内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

各部の名称



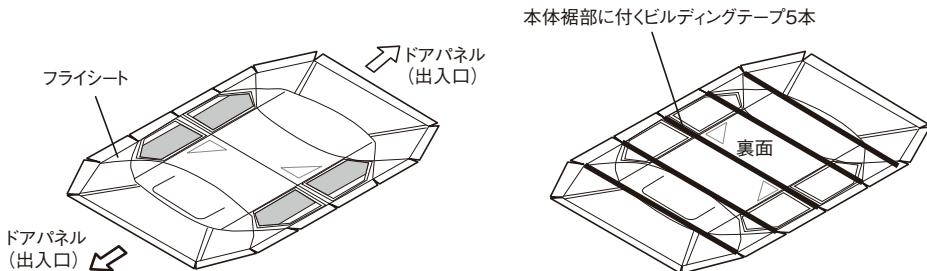
初めてお使いになる前に

- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りをおこない、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

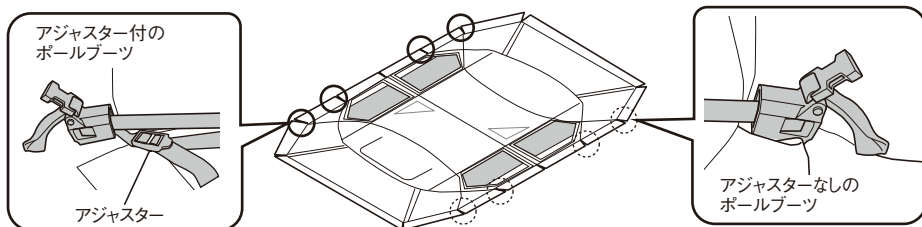
設営の手順 ※より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

設営・撤収は以下の説明に従い、繰り返し練習し、実際のキャンプに備えてください。
また、付属品がすべて揃っているか、前もってご確認ください。無理な設営・撤収は本体やフレームの破損や事故の原因になります。本書をよくお読みになりご使用ください。

- ① 本体を平らな場所に広げてください。その時2つある出入口ドアパネルの向き、天窗の位置を考慮してください。
※ビルディングテープ5本のバックルが接続されていることを確かめ、はずれている場合は設営前に接続をしてください。



- ② フライシートの裾部に取り付いているポールブーツには、フライシートの片面にのみアジャスターが付いています。設営時は、アジャスターを伸ばしきってから設営を始めてください。



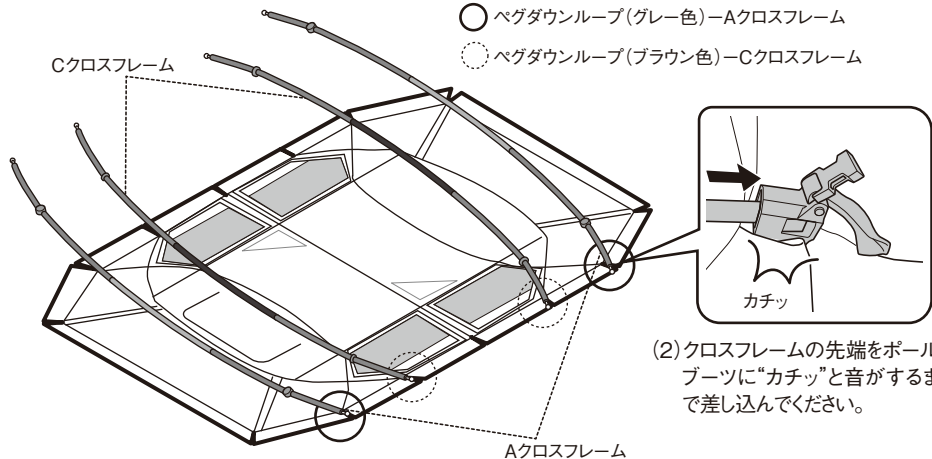
③ AクロスフレームとCクロスフレームをフライシート下部のポールブーツに差し込んでいきます。

(1) AクロスフレームとCクロスフレームを下図のように配置してください。

※フレーム中央のカラーとベグダウンループの色が対応しています。

○ ベグダウンループ(グレー色) - Aクロスフレーム

○ ベグダウンループ(ブラウン色) - Cクロスフレーム



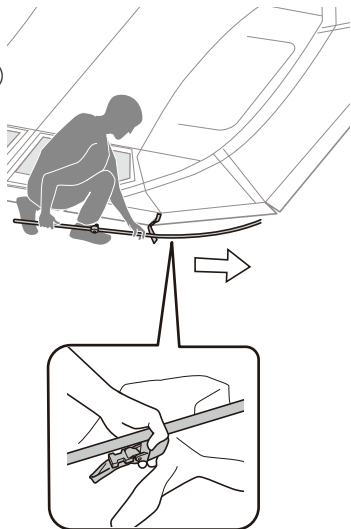
(2) クロスフレームの先端をポールブーツに“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

(3) フレームの反対側もポールブーツに差し込んでください。作業時は、片方の手でポールブーツをしっかり持ち、もう片方の手でフレームを少しずつ湾曲させながら差し込んでください。

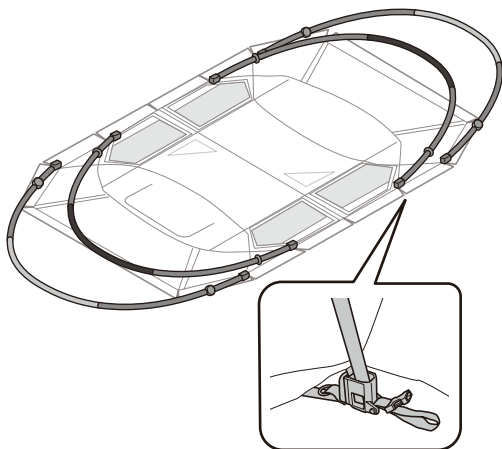
注意 フレームを湾曲させた状態から手を離すと勢いよけはね返り、思わぬケガにつながるおそれがあります。

(4) 残りのフレームもすべて同じ作業をおこなってください。

(3)

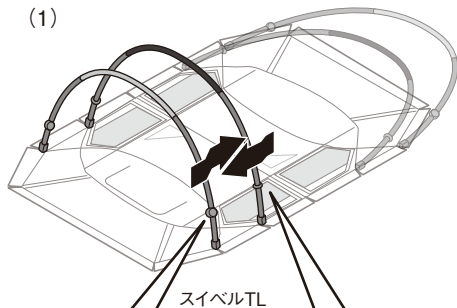


(4)



- ④ AクロスフレームとCクロスフレームを立ち上げて、2本のフレームをクロスさせてスイベルTLで固定してください。
※Aクロスフレームが下側になるように交差してください。

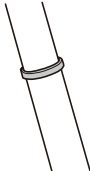
(1)



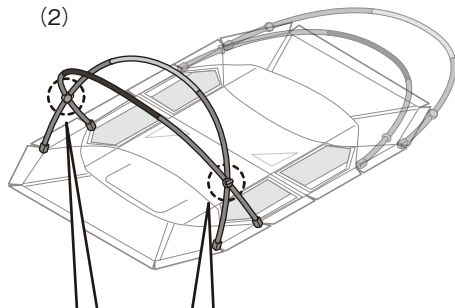
Aクロスフレーム



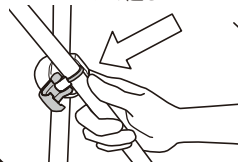
Cクロスフレーム



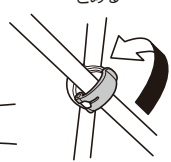
(2)



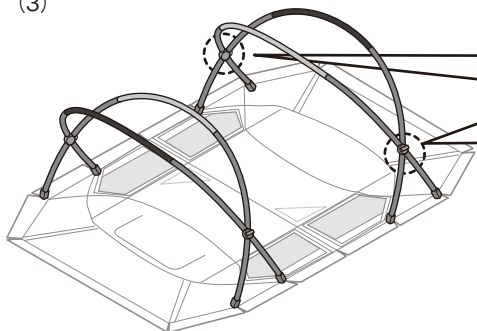
はめ込む



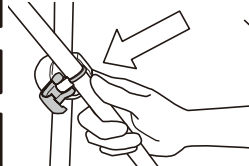
とめる



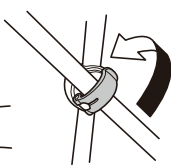
(3)



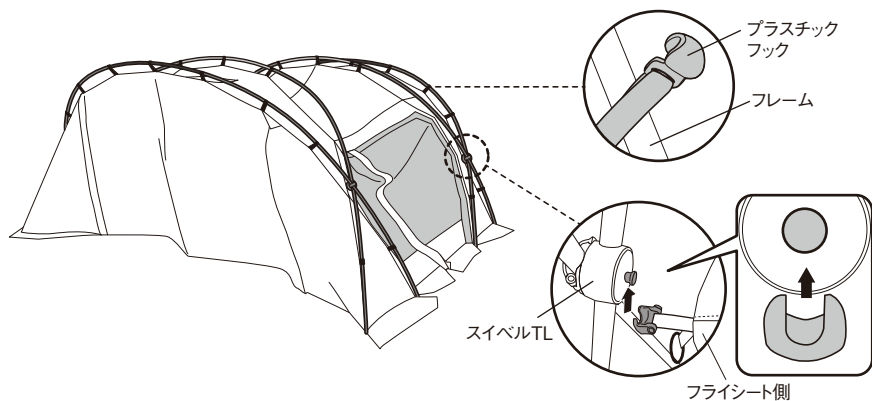
はめ込む



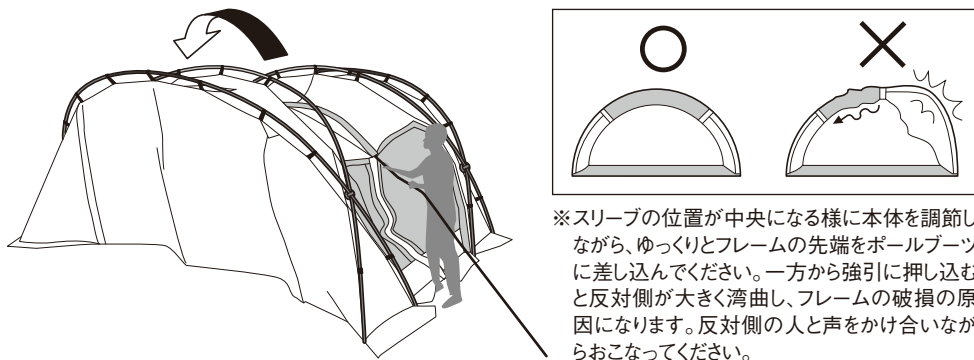
とめる



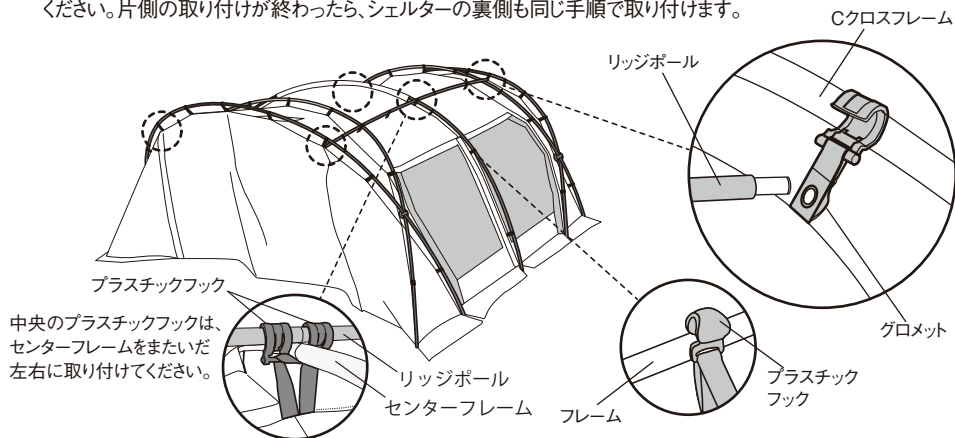
- ⑤ Aクロスフレーム・Cクロスフレームに各々上から下へ順々にプラスチックフックを引っ掛けてください。フレーム交差部はスイベルTLの後ろ側の突起にフライシート側のフックを引っ掛けて固定してください。



- ⑥ センターフレーム(フレーム中央:ブルー色)を中央のスリーブに通して、ポールブーツに差し込んでください。

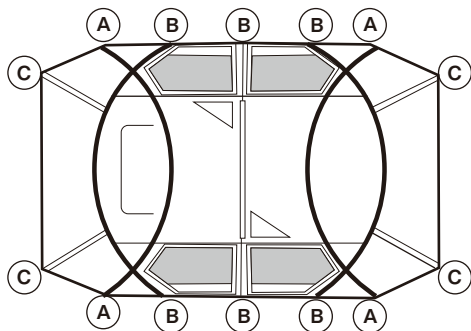


- ⑦ リッジポール2本をシェルターの両側に取り付けます。リッジポールの先端をCクロスフレームのグロメットに差し込み、リッジポールの反対側の先端も同様に差し込んでください。片側の取り付けが終わったら、シェルターの裏側も同じ手順で取り付けます。

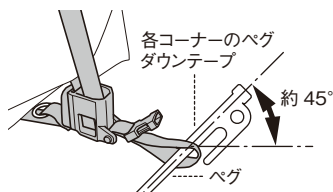


⑧ リッジポールとセンターフレームのプラスチックフックを取り付けてください。

⑨ 裾部ポールブーツに付いているベグダウンテープにベグを通し、A→B→Cの順番で各コーナーのテープをベグで固定してください。



※大型シェルターのためご使用するベグは、30cm以上の鍛造製のベグを推奨します。

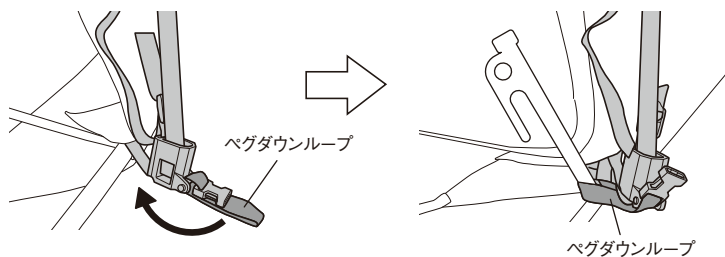


[ループへのベグダウン]
ベグを打ち込む角度は地面に対し約45°になるようにベグダウンしてください。

※シェルターを設営した後、シェルター内での生活動作中にビルディングテープが引っかかって邪魔になる場合は、ビルディングテープをはずすことができます。

〈設営後にビルディングテープをはずす場合〉

ベグダウンテープを内側へ回転させて配置してください(バックルは外側に向け、テープがねじれないよう注意)。その状態で、フライシートの内側からベグダウンします。



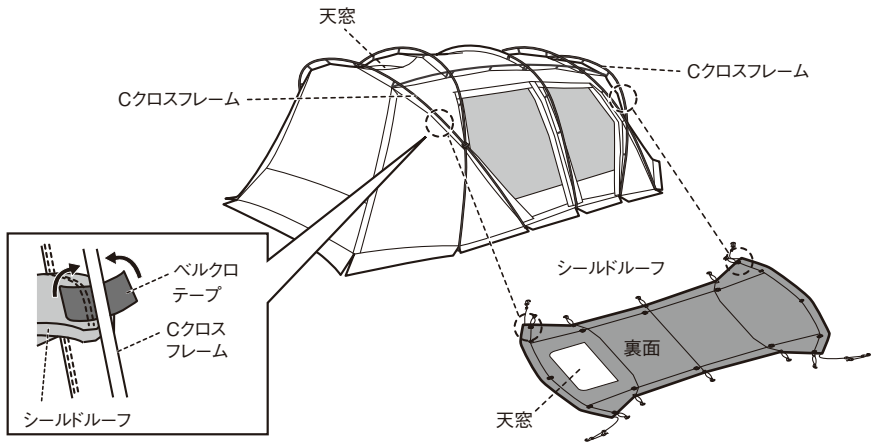
シールドルーフの取り付け手順

本製品はシールドルーフの使用を前提とした設計となっています。

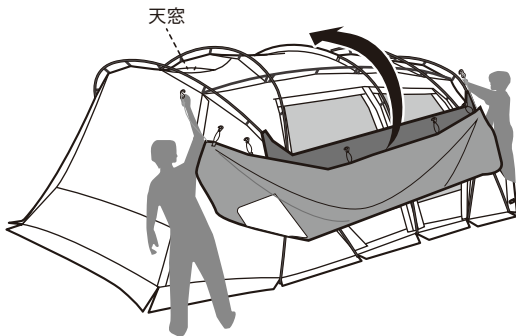
ご使用の際は、必ずシールドルーフを取り付けてください。

※ランドロック X フライカバー-TCを取り付ける場合は、この作業はおこないません。

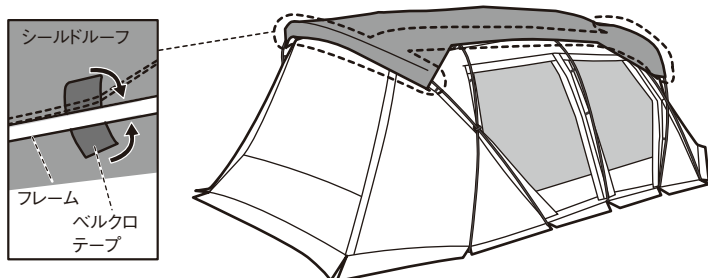
- ① シールドルーフを裏面を上にして広げ、方向を確認します。
シールドルーフ裏面の端部にあるベルクロテープ(下図参照)を、Cクロスフレームに取り付けてください。
※この時天窓の位置を確認して取り付けをおこなってください。



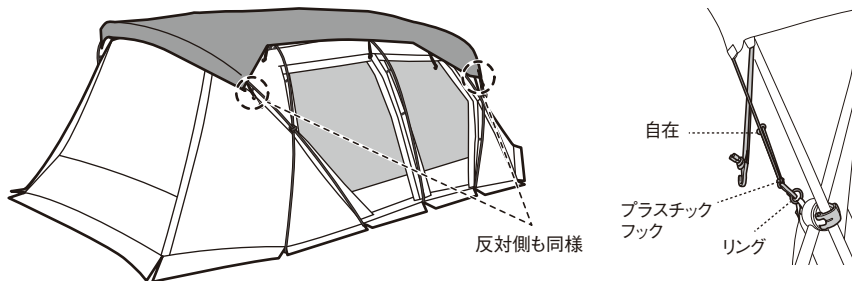
- ② ロープを持ち、シールドルーフをひっくり返しながらシェルター本体にかけてください。
この時①で取り付けたベルクロテープがはずれないように注意してください。



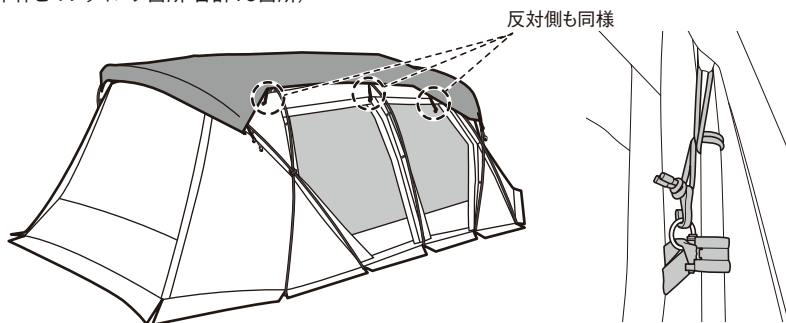
- ③ シールドルーフの裏面のベルクロテープをCクロスフレームとリッジポールにすべて取り付けてください。



- ④ Cクロスフレーム側シールドルーフのプラスチックフックをスイベルTLのOリングに引っ掛けてください。フックを引っ掛けた後、Cクロスフレームにシールドルーフ両端が被るようにシールドルーフ全体を広げ、自在付ロープの自在を使い張り具合を調整してください。

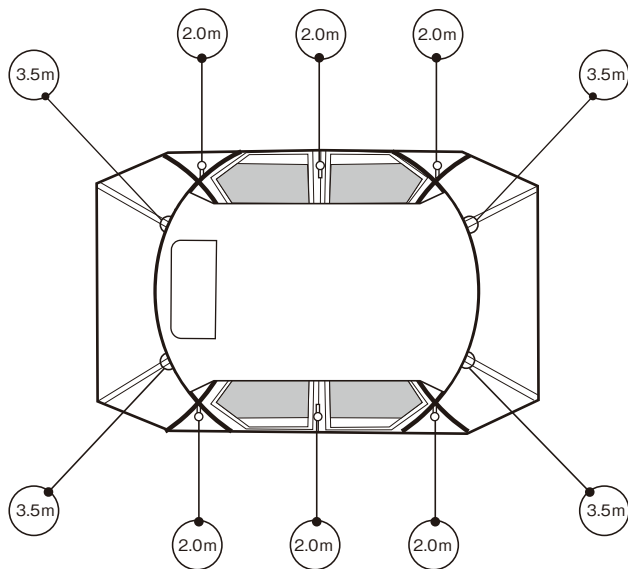


- ⑤ シールドルーフのゴムループのフックを本体のOリングにすべて引っ掛けてください。
(本体とのフッキング箇所:合計10箇所)

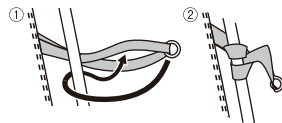


自在付ロープの取付け、ペグダウンの位置

- ① 下図のように自在付ロープの取り付けとペグダウンの位置をおこなってください。

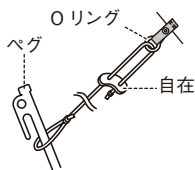


リング付テープの取り付け方



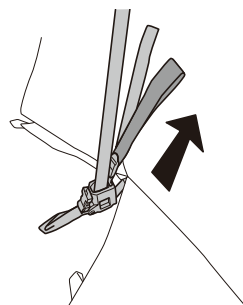
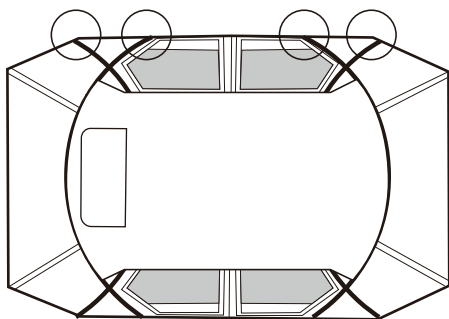
フレームにテープを巻き付けた後、ループに先端を通してください。
スイベル TL 部は外側の C クロスフレームにのみ巻き付けてください。

ロープの取り付け方



ロープの自在が付いている返し部分が Oリング側にくるように取り付けてください。

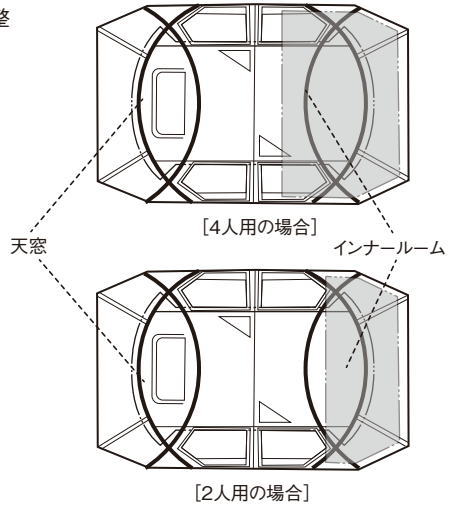
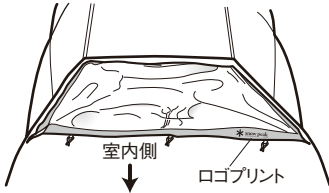
- ② フライシートボトム部のポールブーツ(フライシート片面のみ)のアジャスターを調整し、テンションをかけてください。



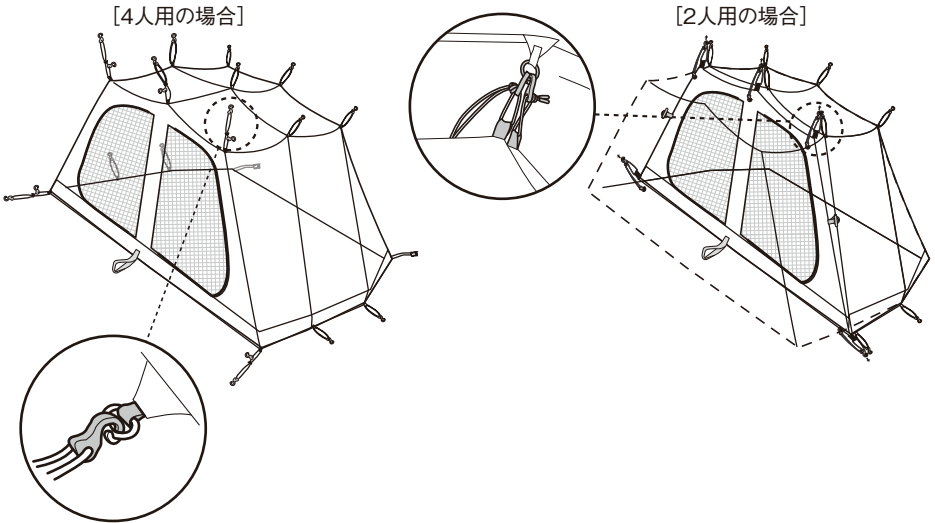
インナールームの取り付け手順

インナールームは、取り付け位置を変えることでサイズを調整
できます。
用途に合わせてお好みのレイアウトでご使用ください。

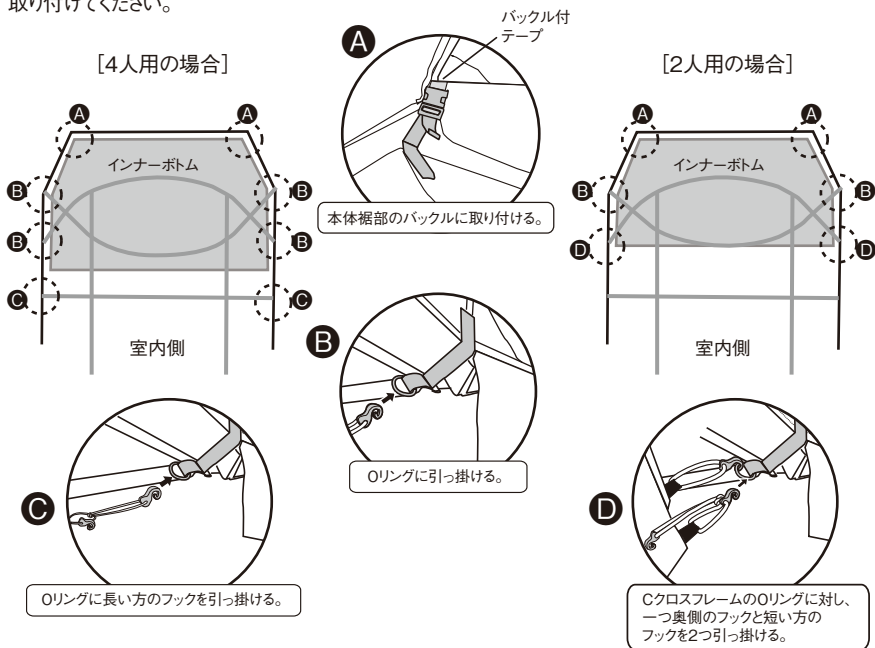
- ① インナールームの前後を確認して、ランドロック X
の室内に広げます。
(インナールームはボトムにロゴプリントが入っ
ている方が室内側になります。)



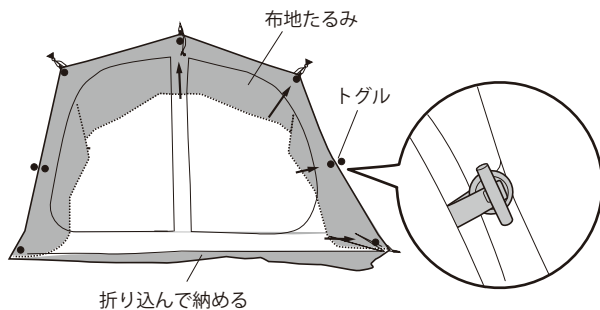
- ② インナールーム上部に付くフックをシェルター本体のOリングにすべて引っ掛けてください。



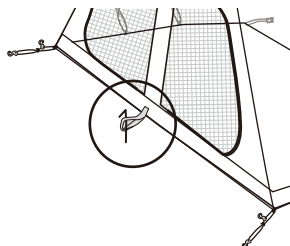
- ③ インナールーム各ボトムコーナーに付くバックルとゴムループをシェルター本体裾部のバックルとOリングに取り付けてください。



- ④ [2人用の場合]のみ：内側にたるんだ布地をトグルでまとめてください。



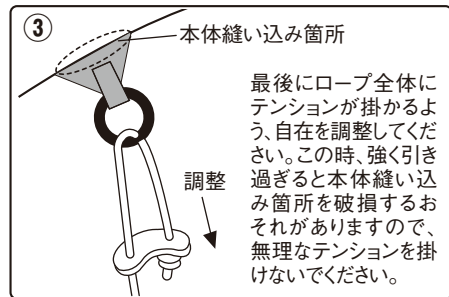
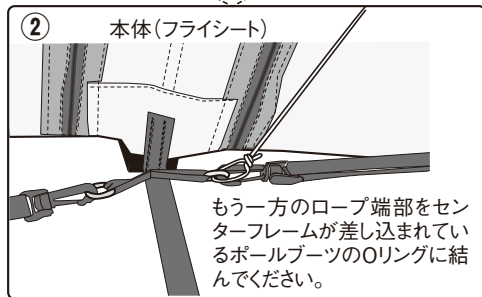
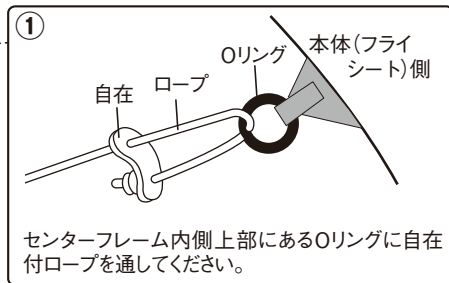
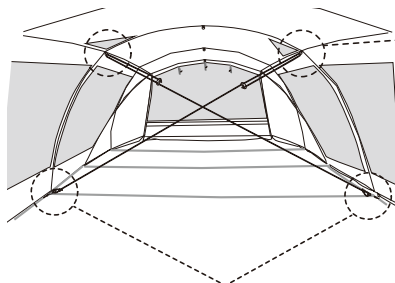
- ⑤ 出入り口下部にあるベグダウンテープをベグダウンしてください。
このベグダウンをすることで、ドア開閉の際のボトム浮き上がりを軽減し、開閉しやすくなります。



強風時の対応

本製品には、強風時に側面からの風に対して安定性を保つセーフティーリングを備えています。センターフレーム内側に付属のロープ(4.5m)を下図のようにセッティングしてください。

警告 本対応は補助的なものです。あらゆる悪天候に耐えられるものではありません。一時的な強風時や、即座に撤収が困難な場合にのみご使用ください。セーフティーリングに体重をかけるなどしないでください。破損のおそれがあります。



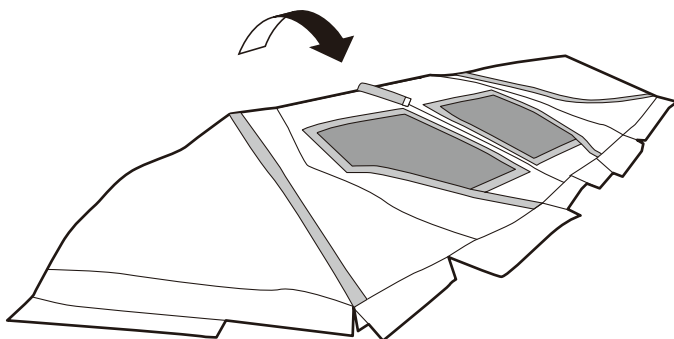
収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- フレームをポールブーツから抜く時は、フレームがハネ返り危険です。ポールブーツとフレームをしっかりと持ち、フレームが真っすぐになるまで手を離さないでください。
- スリーブからフレームを取り出す際は、必ず押して取り出してください。
※フレームを引いて取り出すと、スリーブの中で連結部がはずれることがあり生地を傷める場合があります。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールームを取り付けた場合や、別のテント/タープなどを併用していた場合は、必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中にも何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてケースなどに収納してください。フレームはすべてフレームキャリーバッグに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリーバッグなどを傷付けることがあります。

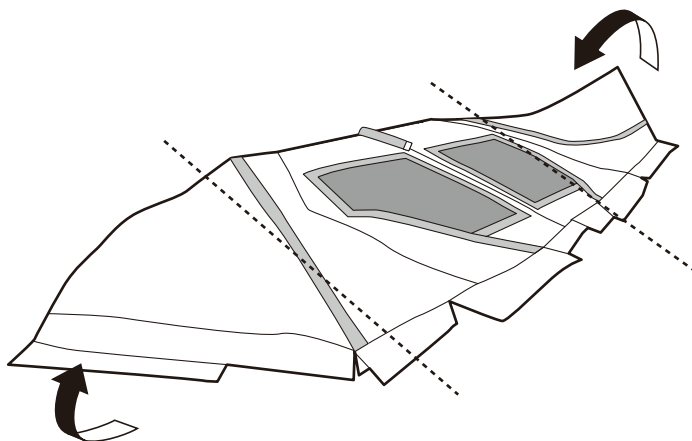
収納方法

撤収は設営と逆の手順でおこなってください。インナールームの中、本体の中にもものが入っていないことを確認してから作業を開始してください。インナールームを収納する際は出入口のファスナーを少し開いておくと巻き取りやすくなります。

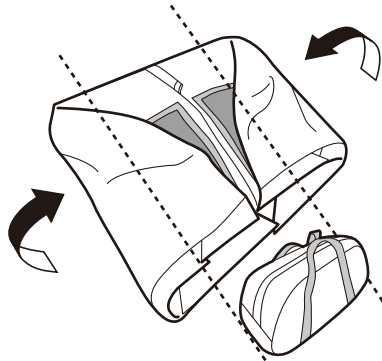
- ① シェルターの中心で2つ折りにたたんでください。



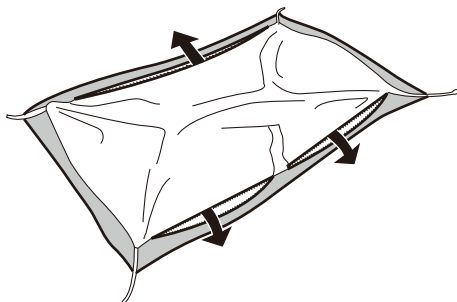
- ② 長方形になるように両サイドを内側にたたんでください。



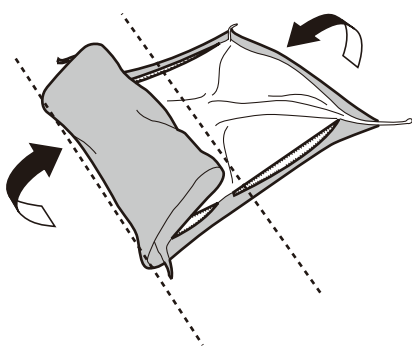
- ③ 長方形になった本体(フライシート)をキャリーバッグサイズに入る幅にたたんでください。



- ④ インナールームドアパネル下部のファスナーを開けてください。



- ⑤ 本体(フライシート)同様に、キャリーバッグサイズに入る様にたたんでください。

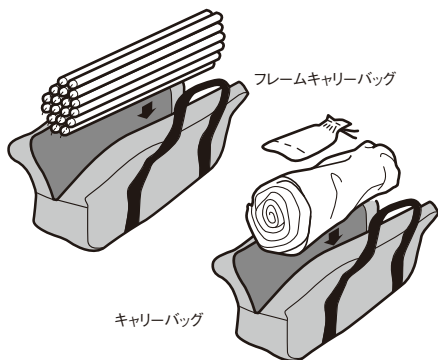


- ⑥ ケース幅になった本体(フライシート)を裾部に向かって空気を出す様に巻いてください。インナールームは④で開けておいたファスナーに向かって、空気を出す様に巻いてください。



- ⑦ フレームは、フレームキャリーバッグへ、本体(フライシート)とインナールームはキャリーバッグへそれぞれ収納してください。

注意 フレーム収納時には、AクロスフレームについているスイベルTLのカバーを必ず開けて収納してください。破損の原因になります。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルターなどの限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気をおこなってください。

撥水・防水性能について

- 本体の生地には撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレーなどを、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 本体の生地にはUVカット加工を施しています。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、製品及び内容物をよく点検してください。不明な点がありましたら弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。
- 本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩擦し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが傷まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次回のキャンプに備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

こんなときは

Q:キャンプ場でフレームが折れてしまったとき

A:応急処置として速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収してください。

Q:キャンプ場で本体生地が破れてしまったり、穴があいてしまったとき

A:傷が広がらない為にも、速やかにガムテープなどで両面から貼り合わせるか、市販のリペアキットなどで補修してください。市販のリペアキットご使用の際は、リペアキットの注意書きをよくお読みください。

Q:撥水が衰えてきたとき

A:撥水加工は、ご使用を重ねますと撥水機能が低下します。撥水が低下してきた場所に撥水スプレーなどを使用してください。スプレーご使用の際は、スプレーの注意書きをよくお読みください。

Q:生地にカビが発生したとき

A:カビの発生箇所を乾拭きし、アルコールで滅菌処理してください。カビにより生地が着色された場合、取り除くことはできません。無理な除去作業は生地やコーティング劣化の原因となりますのでお避けください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してありますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

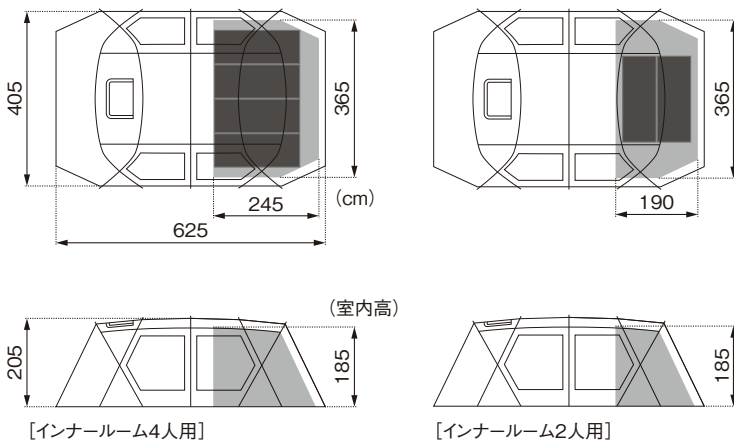
1.素材の経年劣化による損害など商品の寿命 2.改造および粗雑な取扱いによる故障 3.取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障 4.不測の事故による商品の故障 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障 6.ゴミやさびによる故障 7.分解したことによる不具合の発生または破損 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合 9.摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障 10.他社製品との組み合わせによる故障

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- セット内容：フライシート、インナールーム、シールドルーフ、Aクロスフレーム（×2）、Cクロスフレーム（×2）、センターフレーム、リッジポール（×2）、自在付ロープ（4.5m×2、3.5m×4、2.0m×6）、キャリーバッグ、フレームキャリーバッグ、スタッフサック
- 材質：フライシート／75D シリコンポリエステル・遮光ピグメント PU コーティング耐水圧 3,000mm ミニマム・撥水加工・UV カット加工（ルーフ部、ウォール部）、150D シリコンポリエステル・PU コーティング耐水圧 1,800mm ミニマム・撥水加工・UV カット加工（スカート部）、シールドルーフ／75D シリコンポリエステル・遮光ピグメント PU コーティング耐水圧 3,000mm ミニマム・撥水加工・UV カット加工、TPU、インナールーム／68D ポリエステル・撥水加工（ウォール部）、150D ポリエステル・PU コーティング耐水圧 1,800mm ミニマム・撥水加工（ボトム部）、フレーム／アルミニウム合金（Φ18.55mm、Φ16mm）
- 収納サイズ：キャリーバッグ：75×32×30（h）cm
フレームキャリーバッグ：72×22×18（h）cm
- 重量：約 25.5kg
- 対応人数：4名



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク  **0120-010-660** (9:00~17:00)
ユーザーサービス Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA

Instruction Manual Ver. 1.00

TP-672

Landlock X



Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a shelter designed for camping. For safety, read the following instruction manual before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer or Snow Peak Customer Service.

Set Contents

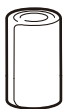
The contents are designed to be set up in normal conditions. You can prepare sturdy, long pegs or ropes for setup in a wider range of conditions. Pegs and rope tensioners are consumable items. We recommend that you always carry spares of these items.



Fly Sheet



Inner Room



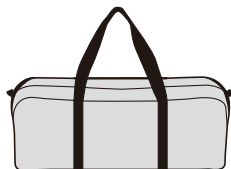
Shield Roof



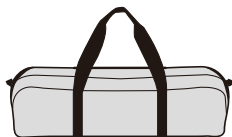
A Cross Frame x 2
C Cross Frame x 2
Center Frame x 1
Ridge Pole x 2



Rope with Tensioner
(4.5m / 14.8' x 2, 3.5m /
11.5' x 4, 2.0m / 6.6' x 6)



Carry Bag



Frame Carry Bag



Stuff Sack

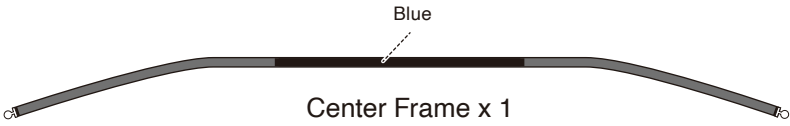
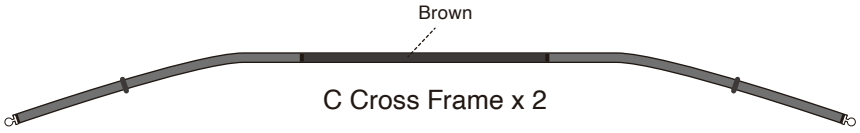
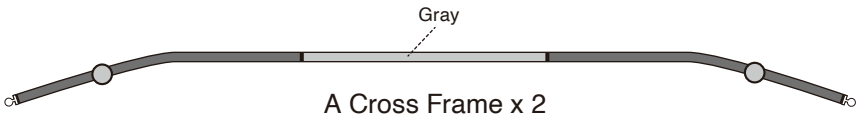


Instruction Manual
(This Manual)

This product does not include duralumin pegs.
Prepare your own forged pegs separately.

[Forged peg conditions]
TP-672: 30cm / 11.8" or longer x 25

Frame configuration



⚠ DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- Do not use combustion devices (such as fuel-burning lanterns, stoves, or heaters), wood-burning stoves not specified by our company, or petroleum-fueled combustion devices (such as kerosene heaters or kerosene stoves) inside the tent/shelter. The use of open flames in a confined space is very dangerous as it can cause fire, lack of oxygen, and carbon monoxide poisoning.
- Do not store or refuel any fuel other than firewood in the shelter, and do not bring anything flammable into the shelter. Keep a lighter, etc. used to ignite the wood-burning stove at a distance where it will not be affected by heat from the wood-burning stove. Also, never leave it in your pocket or on the table.

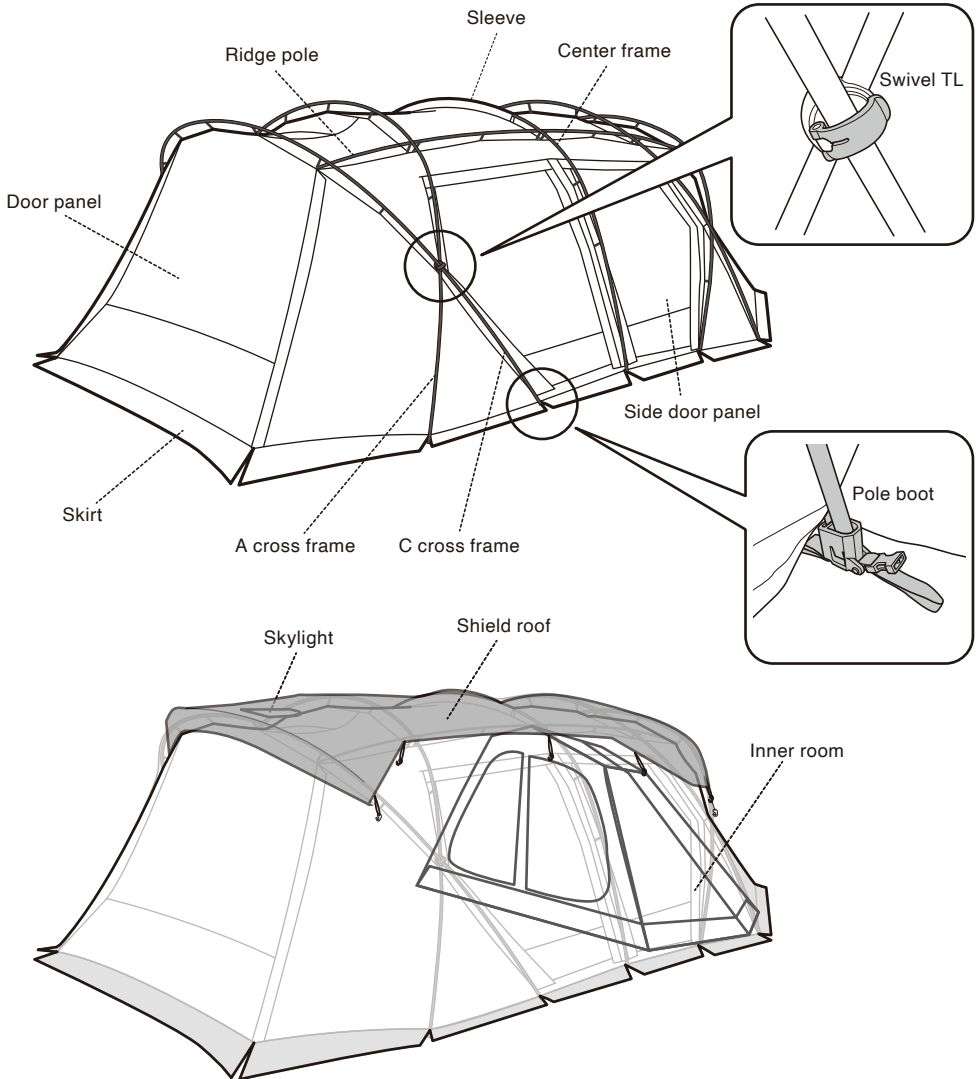
⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If you discover any abnormalities, take the product to the retailer or contact Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Always pay close attention to weather conditions. If bad weather (such as heavy rain, snowfall, strong winds, thunder, etc.) is expected, promptly cancel camping and evacuate to a safe location. In the event of bad weather or strong winds, check from time to time whether the pegs and the ropes are securely connected.
- If snow has accumulated in the vicinity, regularly remove it from the top of the shelter. Due to the structure of the shelter, the weight of the snow can cause damage or cause the shelter to collapse.
- Do not bring heated items into the tent when they are at high temperatures. Inside the tent, very high temperatures may cause heatstroke or fire.
- The temperature inside the shelter can be high, which can cause heat stroke and dehydration. Please pay close attention to conditions.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the tent. Choose a place with no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.
- Please pay attention to the building tape, rope, and pegs at your feet. If you are not careful, you may trip and fall, which may result in an unexpected accident or injury.

⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- This product is not intended to be in permanent use. If the shelter is left in the sun for long periods of time, the colors of the materials may fade, or the fabric may deteriorate and weaken. Do not leave the shelter set up permanently.
- Sunlight can cause the surface of the shelter to heat up, which can potentially cause low-temperature burns. Please be extremely careful.
- Do not assemble or use this product close to a fire, fireworks, etc. When setting up or disassembling the product, make sure that there is no fire nearby. Flying sparks can burn holes in the fabric.
- Hold the shelter firmly when assembling and disassembling. Unexpected accidents may occur due to the frame ends recoiling, etc., so ensure that the surroundings are safe, with no other people in the vicinity. Always assemble/disassemble this product with two or more people.
- Firmly secure the pegs, guy lines, etc.
- Because this product uses a thin fabric, it may break if you pull the fabric too much. Please exercise due care.
- To withstand wind and rain, it is important to appropriately tighten the ropes. When using this product, be sure to tighten all ropes according to the guidelines stated in this instruction manual.
- When assembling and disassembling this product, be sure to hold the frame firmly. Otherwise, the edge of the frame may fly back and cause an unexpected accident, so make sure there are no people nearby and check the safety of your surroundings.
- Sewn areas are waterproofed with seam tape, however, there are some areas where seam tape cannot be applied due to manufacturing or structural reasons, such as door panels, window zippers, and areas where tape is sewn in. This product can withstand normal rain, however, in prolonged heavy rain or driving rain, water may seep through the seams. This product is not seam-sealed at the time of purchase. Before use, please apply a commercially available seam sealer along the seams, from both the inside and outside.
- The inner room has a loop for hanging small items. Please note that this loop is only suitable for hanging items weighing less than 1kg.

Names of parts



Before Using this Product for the First Time

- Please check that all accessory items are included before attempting to assemble the product. Practice assembling and handling the product in a safe location before using it while camping. In the unlikely event that there is a problem or a missing accessory, please contact the dealer where you purchased the product, or Snow Peak Customer Service.

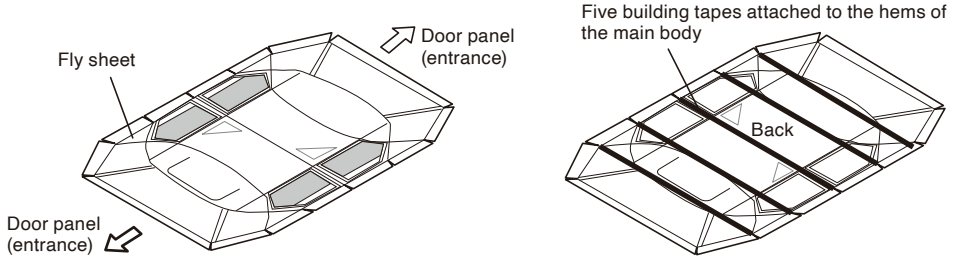
Setup procedure * To help ensure safety, this procedure should always be carried out by two or more people.

Follow the instructions below to practice setting up and packing up this product several times in order to prepare yourself for actual camping.

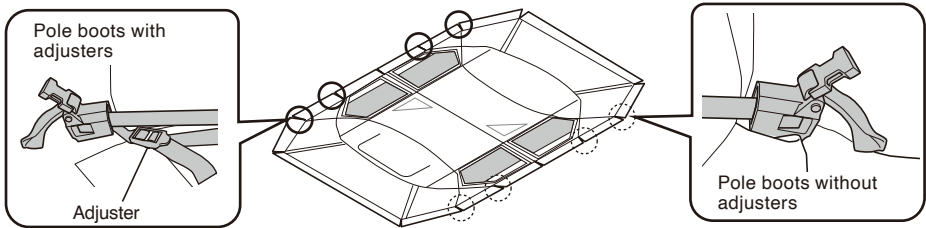
Make sure that you have all the accessories you need in advance. Inappropriate setup or disassembly may damage the main body or frames, or lead to an accident. Please read this manual carefully before use.

- ① Spread out the main body on a flat area. When doing so, consider the orientation of the two doorway door panels and position of the skylight.

* Make sure the five buckles on the building tape are connected. If they are loose, connect them before setting up.

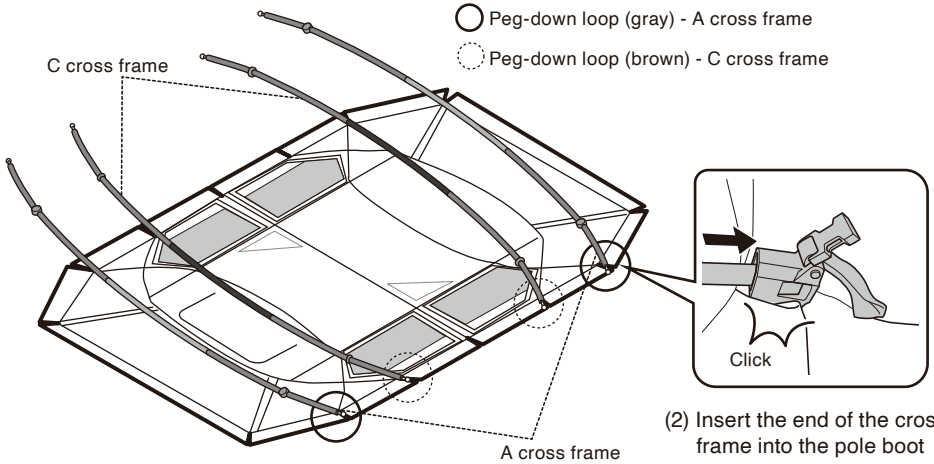


- ② The pole boots attached to the bottom of the fly have adjusters on only one side of the fly. When setting up, make sure to fully extend the adjusters before starting the setup process.



- ③ Insert the A cross frame and C cross frame into the pole boots at the bottom of the fly.
- (1) Place the A cross frames and C cross frames as shown below.

* The color of the center of the frame corresponds to the color of the peg-down loop.

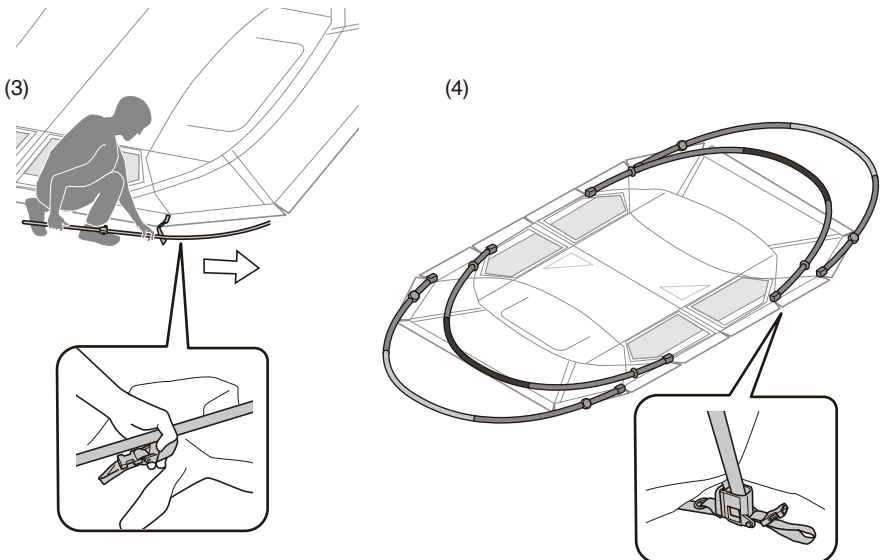


- (2) Insert the end of the cross frame into the pole boot until it clicks into place.

- (3) Insert the other sides of the frames into the pole boots. When working, hold the pole boot firmly with one hand and use the other to insert the frame while gradually bending it.

CAUTION If you release the frame while bending it, it may bounce back forcefully, which may cause an unexpected injury.

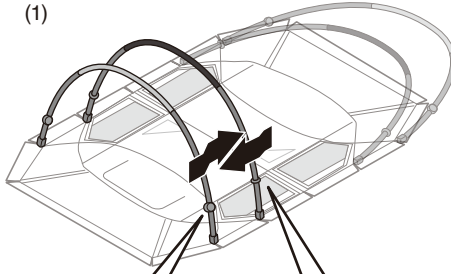
- (4) Repeat the same procedure for all remaining frames.



4 Raise the A cross frame and C cross frame, cross these two frames, and secure them using the swivel TL.

* Cross these frames so that the A cross frame is on the bottom.

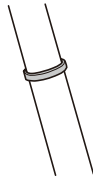
(1)



A cross frame

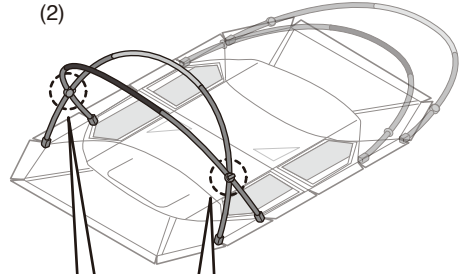


C cross frame

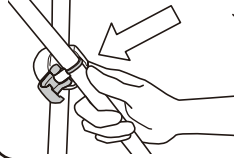


Swivel TL

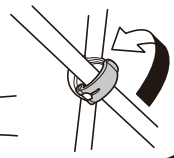
(2)



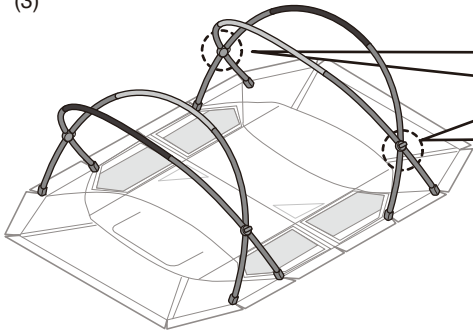
Fit



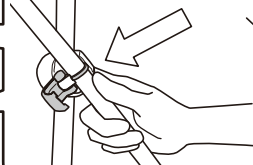
Secure



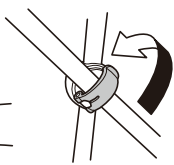
(3)



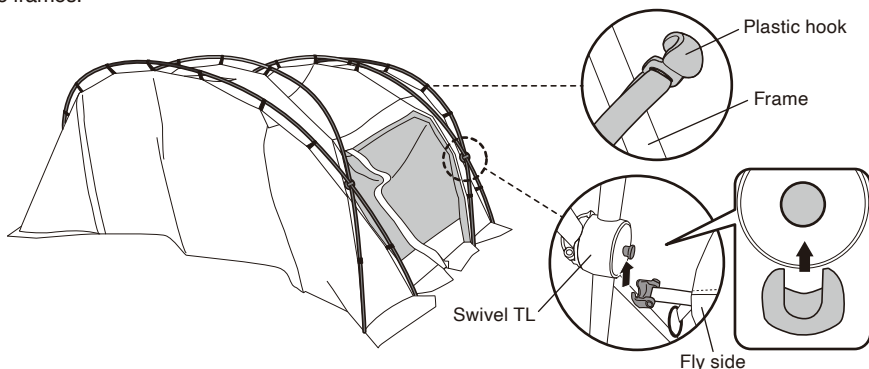
Fit



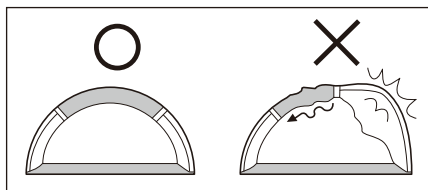
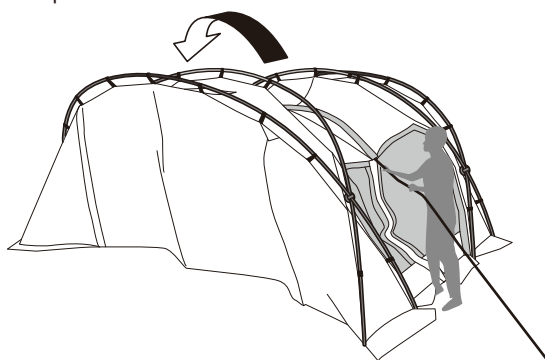
Secure



- 5 Hook the plastic hooks onto the A cross frame and C cross frame in sequence from top to bottom. Hook the flysheet-side hook onto the rear protrusion of the Swivel TL to secure the cross section of the frames.

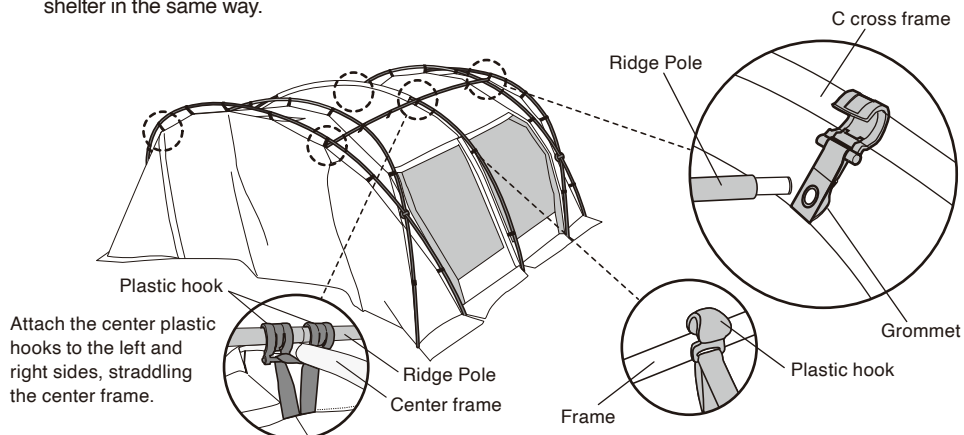


- 6 Pass the center frame (center of the frame: blue) through the center sleeve and insert it into the pole boot.



* Adjust the main body so that the sleeve is positioned in the center, and slowly insert the edge of the frame into the pole boot. If you force it in from one side, the opposite side will bend significantly, which could cause the frame to break. Coordinate with the person on the other side while performing this step.

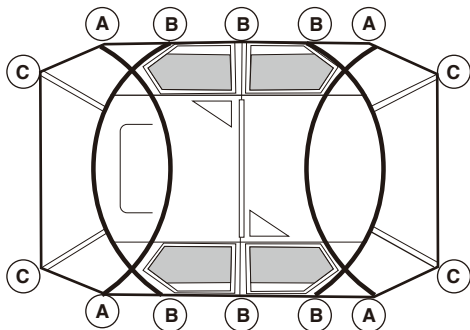
- 7 Attach the two ridge poles to both sides of the shelter. Insert the edge of the ridge pole into the grommet on the C cross frame, then insert the other end of the ridge pole in the same manner. Once one side has been attached, attach the opposite side of the shelter in the same way.



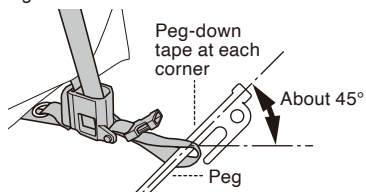
Attach the center plastic hooks to the left and right sides, straddling the center frame.

8 Attach the ridge pole and the plastic hook to the center frame.

9 Thread the pegs through the peg-down tape attached to the pole boots at the lower edge, and use pegs to secure the tapes at each corner in the order A→B→C.



* As this is a large shelter, we recommend using forged pegs that are 30cm / 11.8" or longer.

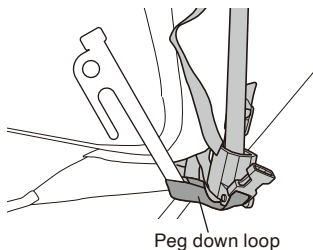
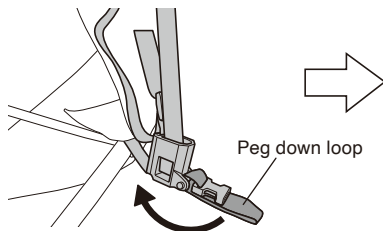


[Pegging down to loop]
Insert the pegs into the ground at an angle of approximately 45°.

* After setting up the shelter, if the building tape gets caught and gets in the way while you are carrying out daily activities inside the shelter, you can remove it.

<When removing the building tape after setting up>

Rotate the peg-down tape inward (with the buckle facing outward, taking care not to twist the tape). Then, peg down the fly from the inside.



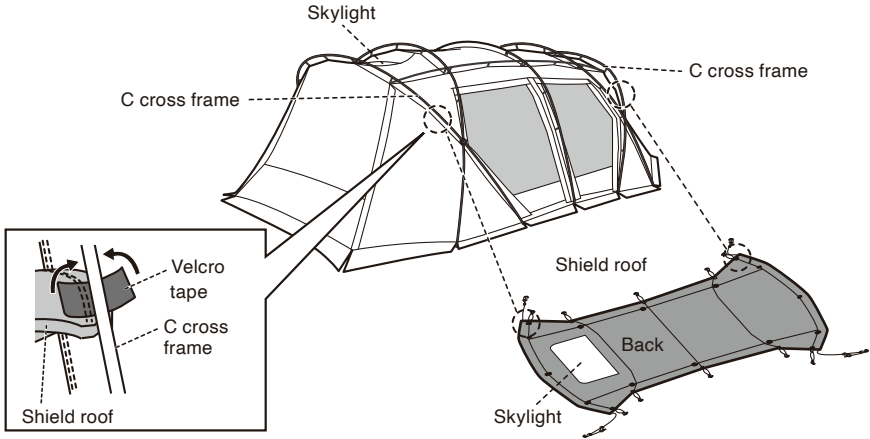
How to attach the shield roof

This product is designed to be used with a shield roof.
When using this product, be sure to attach the shield roof.

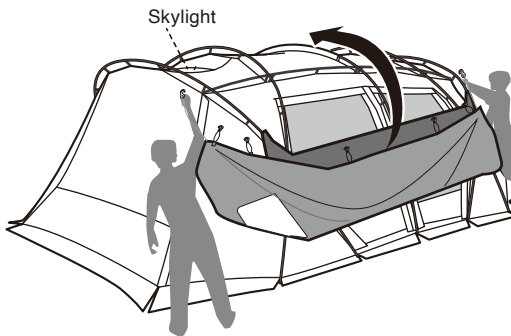
* It is not necessary to carry out this step when you want to install the Landlock X Fly Cover TC.

- 1 Spread the shield roof out with the back side facing up and check the orientation. Attach the Velcro tape (as shown below) on the edge of the back of the shield roof to the C cross frame.

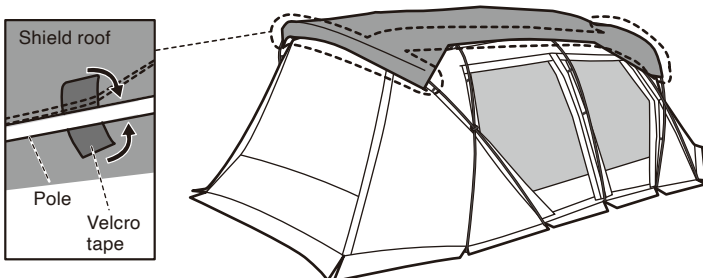
* When installing, be sure to check the position of the skylight.



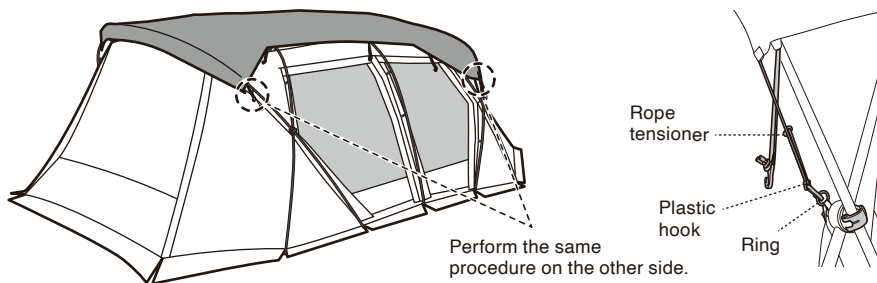
- 2 Hold the rope, and while turning the shield roof inside out, place it over the shelter body. When doing so, be careful not to remove the Velcro tape you attached in step 1.



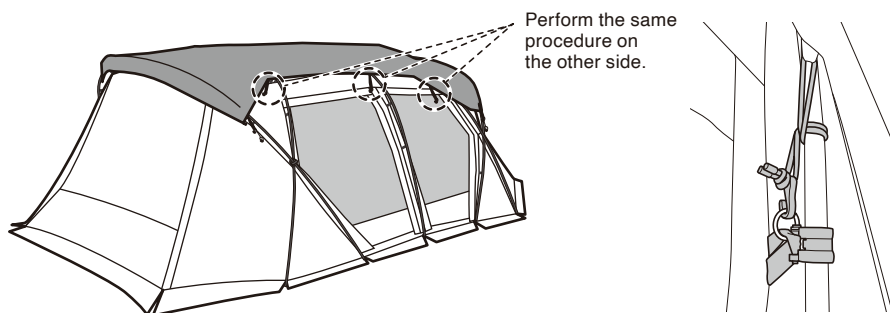
- 3 Attach the Velcro tape on the back of the shield roof to the C cross frame and ridge pole.



- ④ Hook the plastic hooks on the shield roof on the C cross frame side onto the O-ring on the swivel TL. After hooking the hooks, spread the entire shield roof so that both ends of the shield roof cover the C cross frame, and use the rope tensioner on the rope to adjust the tension.

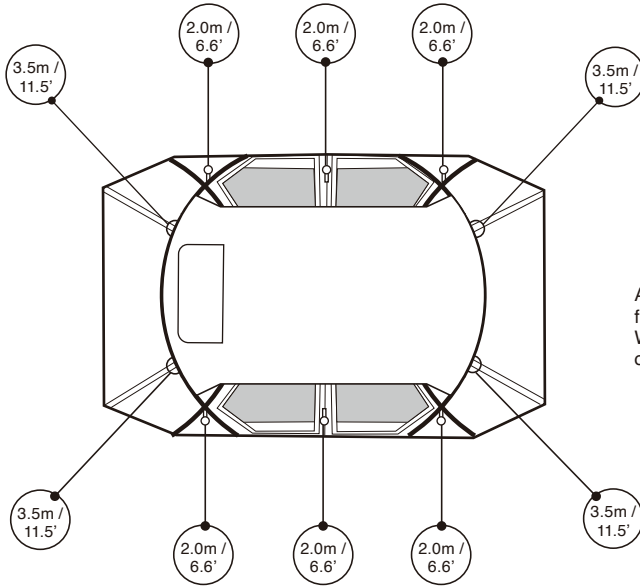


- ⑤ Hook all of the hooks on the rubber loops of the shield roof onto the O-rings on the main body. (Hooking points with the main body: 10 points in total)

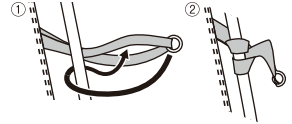


Attaching the rope with tensioner, peg down positions

- 1 Attach the rope with tensioner and drive in the pegs as shown below.

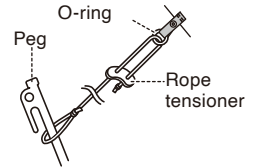


Attaching the tape with a ring



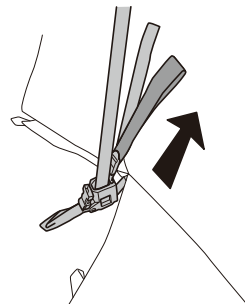
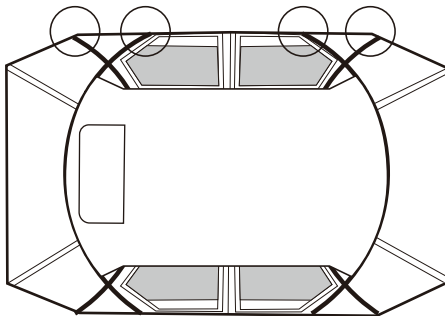
After wrapping the tape around the frame, thread the end through the loop. Wrap the swivel TL section around the outer C cross frame only.

How to attach the rope



Attach the rope so that the part with the rope tensioner is on the O-ring side.

- 2 Adjust the adjuster on the pole boot (only on one side of the fly) at the bottom of the fly to apply tension.

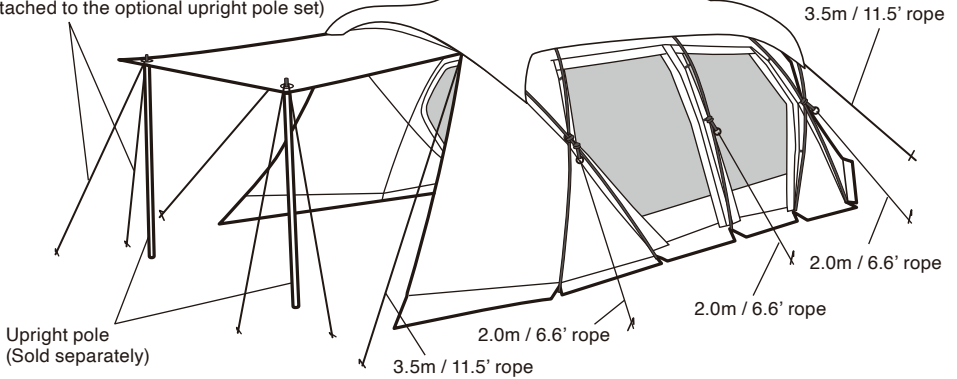


To extend the door panel for the doorway, use the separately sold upright pole (TP-080) and raise it using a forked rope. Next, to prevent the door panel from sagging, connect the loop on the inside of the door panel to the hook at the inside attachment point of the door panel, and apply tension to the tape. Adjust the direction of the rope so that there are no wrinkles.

* Water tends to collect on the door panel when it rains, so tilt the pole diagonally to create a slope, or use a pole short to hang a large V-shape down the center of the front and to create an escape route for water and prevent it from accumulating.

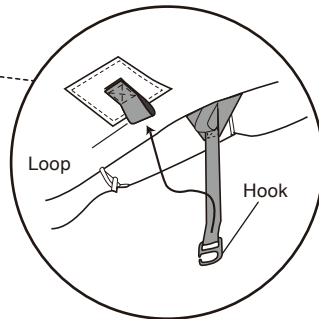
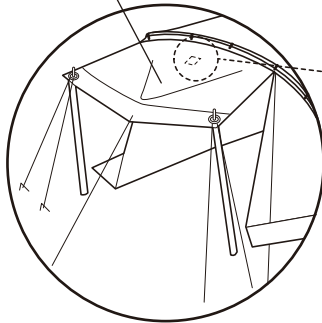
7m / 23.0' forked end rope

(Attached to the optional upright pole set)



Create a V-shaped water escape route.

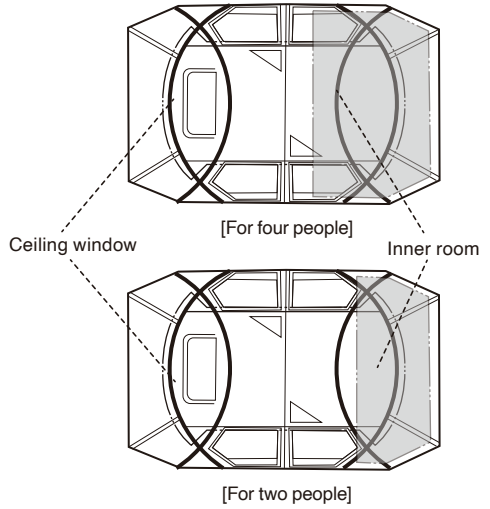
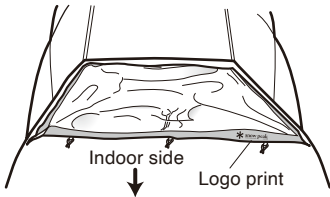
CAUTION To prevent the main body from being blown away by the wind, and the frame from bending, securely peg down the main body and apply tension to the ropes.



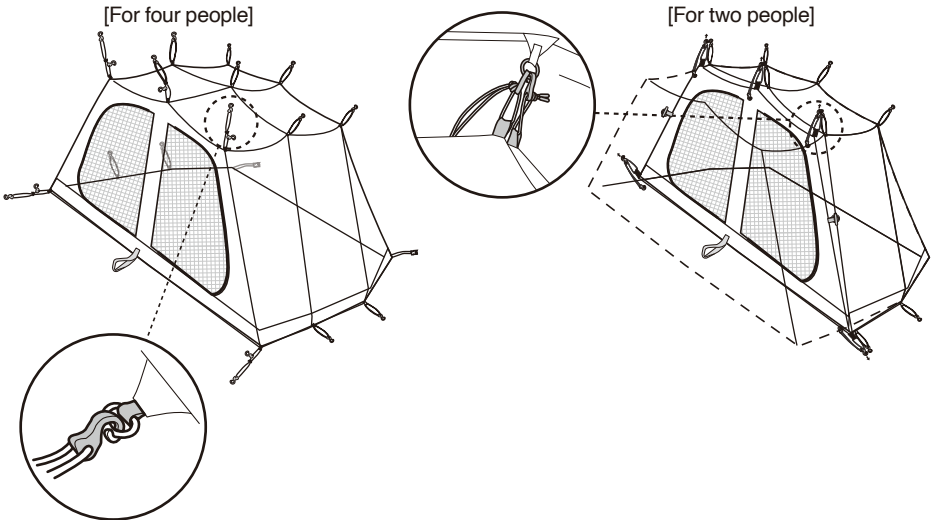
How to attach the inner room

The size of the inner room can be adjusted by changing the installation position. Use it in your preferred layout depending on your requirements.

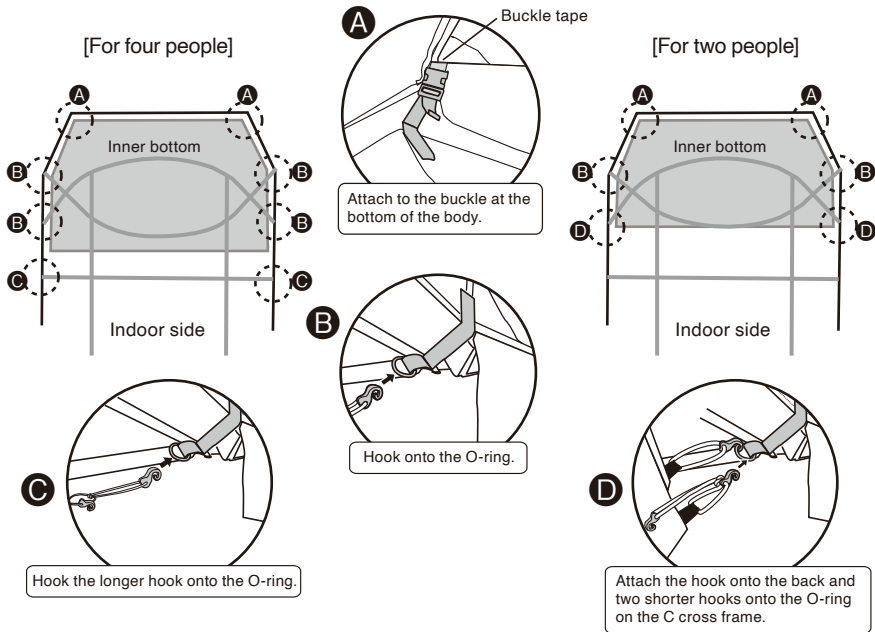
- 1 Check the front and back of the inner room and spread it out inside the Landlock X. (The side of the inner room with the logo print at the bottom is the indoor side of it.)



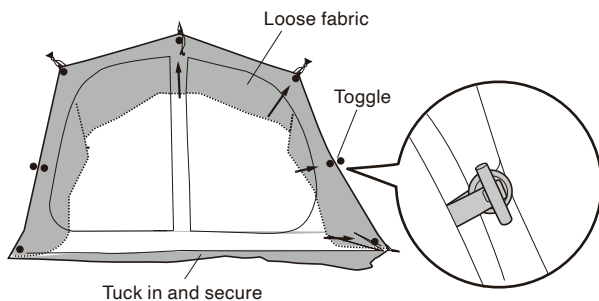
- 2 Hook all of the hooks at the top of the inner room onto the O-ring on the shelter body.



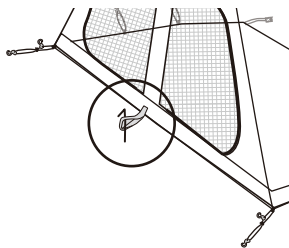
- 3 Attach the buckles and rubber loops at each bottom corner of the inner room to the buckles and O-rings on the lower edge of the shelter body.



- 4 Only [For two people] : Gather any loose fabric on the inside using the toggles.



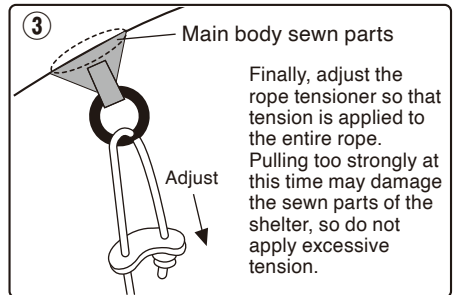
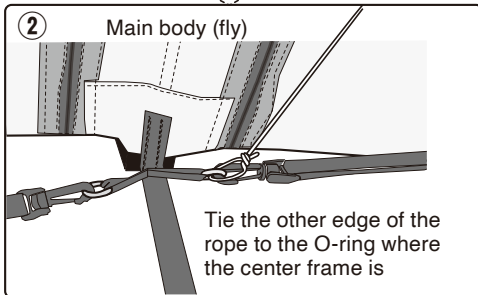
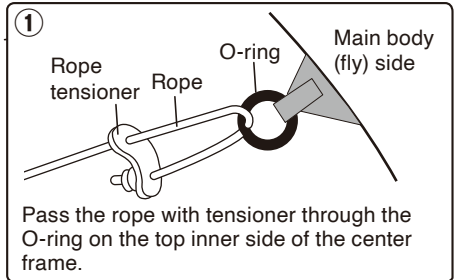
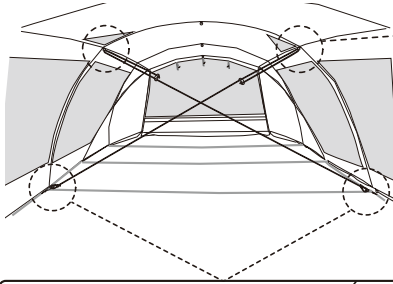
- 5 Peg down the peg-down tape at the bottom of the doorway. This peg down reduces the bottom lift when opening and closing the door, making it easier to open and close.



What to do in case of strong winds

This product is equipped with a safety ring that maintains stability against wind from the sides when strong winds occur. Set the included rope (4.5m / 14.8') inside the center frame as shown below.

WARNING This is just an assisting measure. It cannot withstand all bad weather conditions. Only use this if you encounter temporary strong winds or if it is difficult to disassemble the product immediately. Do not apply your weight to the safety rings. Otherwise, it may cause damage.



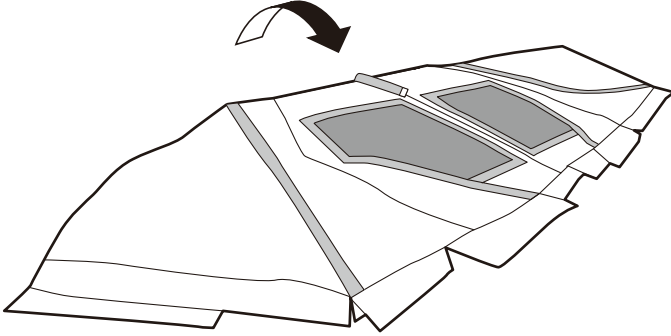
Precautions for storage

- Make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
- When removing the frame from the pole boot, exercise care because the frame may bounce back. Hold the pole boot and frame firmly, and do not release your hand until the frame is straight.
- When removing the frame from the sleeve, be sure to push it out.
* If you pull the frame to take it out, the connecting part may come off inside the sleeve, which may damage the fabric.
- If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the product.
- If you have attached an inner room, be sure to remove the inner room or any other products from the (tent/shelter/tarp) before disassembling it.
- Ensure nothing is inside the shelter and that all panels and windows are closed.
- Ensure that all belts are connected before taking down the shelter. Connecting the belts makes it easier to peg down the tent next time.
- Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case. Store all frame in the frame carry bag. Storing these items while exposed may damage the main body fabric and the carry bag.

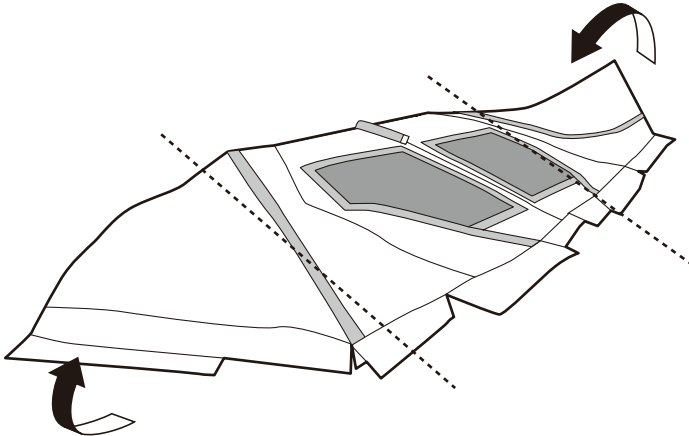
How to store

To disassemble, perform the setup procedure in reverse. Make sure there is nothing inside the inner room and the main body before starting the disassembly process. When storing the inner room, it will be easier to roll up if you leave the zipper on the doorway of the inner room slightly open.

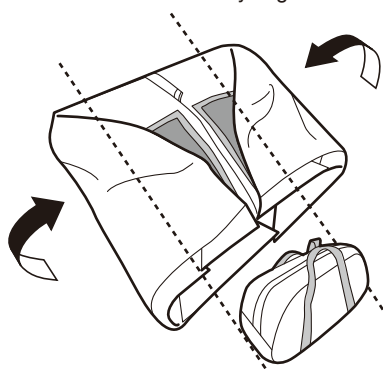
- 1 Fold it in half in the center of the shelter.



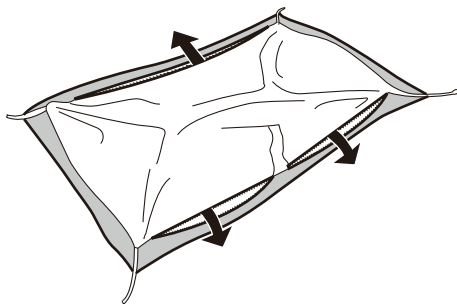
- 2 Fold both sides inward to form a rectangle.



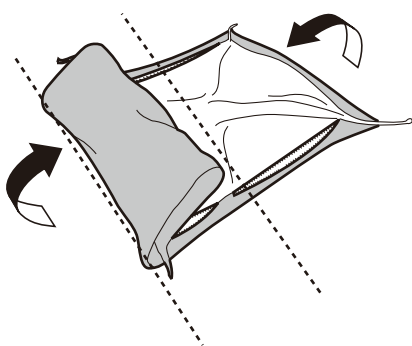
- ③ Fold the rectangular main body (fly) to a width that fits into the carry bag.



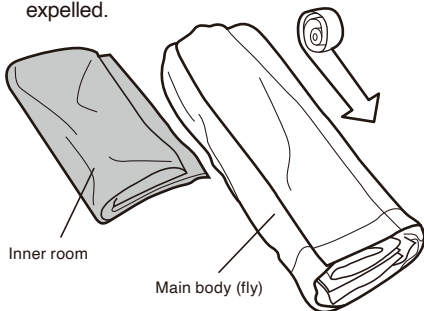
- ④ Open the zipper at the bottom of the inner room door panel.



- ⑤ In the same way as for the main body (fly), fold it so that it fits inside the carry bag.

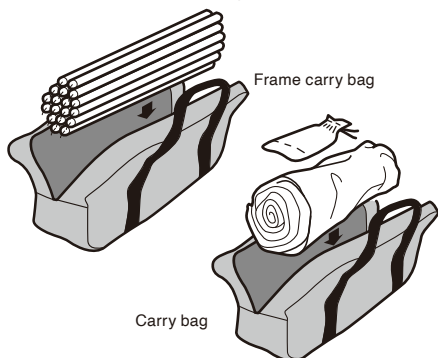


- ⑥ Roll up the shelter (fly) that is the same width of the case toward the hem so that air is expelled. Roll up the inner room toward the zipper opened in ④ so that air is expelled.



- ⑦ Store the frames in the frame carry bag, and the main body (fly), inner room in the carry bag.

CAUTION When storing the frames, be sure to close the swivel TL cover on the A cross frame. Otherwise, the product may be damaged.



About condensation

Moisture suspended in the air rapidly cools down and turns into mist, which appears as condensation. Particularly in a confined space such as a tent or shelter, moisture from people inside is released into the air through breathing and sweating, which then turns into water vapor. This results in a higher concentration of water vapor compared to that in a typical room, increasing the likelihood of condensation forming. Condensation cannot be completely prevented, even with high-performance waterproof and breathable materials, depending on the usage conditions. To reduce condensation, frequently create steady ventilation while the tent is in use.

Water-repellent and waterproof functions

- The fabric of the product is treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water-repellent capacity and durability may vary slightly due to the characteristics of each material. The water-repellent finish will lose its effectiveness after repeated use. If the performance decreases, use a commercially available water-repellent spray after carefully reading the instructions for use.
- Although this product is made of highly waterproof fabric, rainwater may soak into it if it is in contact with pools of water on the ground for long periods of time.
- The coating may be damaged by agricultural chemicals, which can cause an abnormal drop in water pressure resistance. Please note that the product will not be covered by the warranty if it is damaged by agricultural chemicals.
- The logo may peel off due to the effect of the water repellent agent.

Effect of ultraviolet rays

- If the shelter is left in the sun for long periods of time, the colors of the materials may fade, or the fabric may deteriorate and weaken. Do not leave the shelter set up permanently.
- A UV protection treatment has been applied to the material of the tent.
* The UV protection treatment does not completely shield humans from ultraviolet rays or stop the deterioration of the material's strength.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

Maintenance & storage

- When using the product again after not using it for a long period of time, carefully inspect the product and the other included items. If you have any questions, please contact Snow Peak Customer Service.
- A polyester fabric blend is used for this product. Considering the material characteristics, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, please note that depending on storage conditions, slight color migration may occur. We appreciate your understanding. Do not store the product while it is wet.
- Before storing, the product should be cleaned and dried. If the product is stored while wet, mold, bad odors, color migration, and material deterioration may occur. Dry the product sufficiently in a breezy, shaded area and clean the surface using a soft brush before storing.
- Clean and dry the surface of the frames before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric. Ensure that the shock cords inside the frames are not pulled unnecessarily.
- Please store in a well-ventilated area away from direct sunlight, high temperatures, and high humidity.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand, or dust may cause wear or damage. Use a brush to make sure it is always kept clean. Regularly apply small amounts of silicone lubricant to the zipper to ensure smooth movement. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric.
- Small areas of fabric damage can be fixed with repair tape. Please read the repair tape manual carefully before applying.
- Depending on the conditions during use, a large area of the product material may deteriorate, lose its durability, and become irreparable.
- Seam tape is pressure-capped at a temperature setting that prevents damage to the PU coating. However, it may peel off as it is used repeatedly. If peeling is found, set an iron at a low temperature and reattach only the peeling sections. Be aware that excessive heat will discolor or accelerate the deterioration of the fabric. Do not forcibly peel off the seam tape. If the PU coating peels off completely, it may be impossible to repair.
- Sap cannot be easily removed. Do not set up this product under trees that frequently drop sap. If sap is forcibly removed using a solvent, etc., the fabric or coating may be damaged.
- To maximize the longevity of this product, regularly check and maintain it.

FAQ

Q: What can be done if a frame breaks while the tent is in use?

A: As an emergency countermeasure, use a splint and secure it using vinyl tape. Alternatively, fully disassemble the tent before repairing it.

Q: What can be done if the Inner Tent cloth is damaged or rips while the tent is in use?

A: Seal the area with packing tape on both sides or use a tent repair kit that can be purchased at your local outdoor gear retailer. When using a repair kit, read the instructions carefully.

Q: What can be done when the water-repellent finish degrades?

A: The water-repellent finish will lose its effectiveness with repeated use. When the material's water repellence decreases, please use a water-repellent spray that can be purchased at your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.

Q: What can be done if mold develops on the tent material?

A: Wipe the affected area with a dry cloth and sterilize with alcohol. When the material has a color change due to mold, this color change cannot be removed. Removing mold with excessive force may result in further deterioration of the material and the coating finish. If the fabric has become colored due to mold, the color cannot be removed. Forceful removal of it may cause the fabric and coating to deteriorate, therefore, do not attempt to remove it.

Warranty

Snow Peak has taken all possible measures to ensure every product is durable and functions correctly. If you find any product defects, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

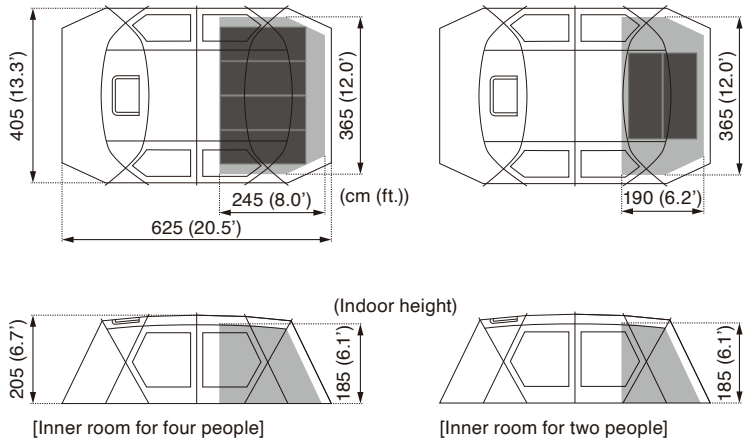
1. Material deterioration caused by age
2. Damage caused by modifications or rough handling
3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual
4. Damage caused by unexpected accidents
5. Any damage other than defects in the manufacturing process
6. Damage caused by dust or rust
7. Damage and defects caused by dismantling the product
8. Damage and defects caused by dropping, jolting or other shocks
9. Deterioration or failure of parts due to friction
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products

Repairs

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Specifications

- Contents: Fly Sheet, Inner Room, Shield Roof, A Cross Frame (x 2), C Cross Frame (x 2), Center Frame, Ridge Pole (x 2), Rope with Tensioner (4.5m / 14.7' x 2, 3.5m / 11.5' x 4, 2.0m / 6.6' x 6), Carry Bag, Frame Carry Bag, Stuff Sack
- Material: Fly Sheet / 75D Silicone Polyester, Pigment PU Coating Waterproof Rating: 3,000mm minimum, Water Repellent Finish, UV Protection Treatment (Roof, Wall), 150D Silicone Polyester, PU Coating Waterproof Rating: 1,800mm minimum, Water Repellent Finish, UV Protection Treatment (Skirt), Shield Roof / 75D Silicone Polyester, Pigment PU Coating Waterproof Rating: 3,000mm minimum, Water Repellent Finish, UV Protection Treatment, TPU, Inner Room / 68D Polyester, Water Repellent Finish (Wall), 150D Polyester, PU Coating Waterproof Rating: 1,800mm minimum, Water Repellent Finish (Bottom), Frame / Aluminum alloy (dia. 18.55mm / 0.7" , dia. 16mm / 0.6")
- Storage size: Carry Bag: 75 x 32 x 30(h) cm / 29.5" x 12.6" x 11.8" (h)
Frame Carry Bag: 72 x 22 x 18(h) cm / 28.3" x 8.7" x 7.1" (h)
- Weight: Approx. 25.5kg/56.2lbs
- Capacity: 4 persons



Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

MADE IN CHINA